東鍼会報

2014. 09 NO. 266 TŌSHIN KAIHŌ

発行
公益社団法人
東京都鍼灸師会
☎ 03-3985-7501
FAX.03-3985-7526
www.harikyu-tokyo.or.jp

事　業　日　程　表〈N は日鍼会の略〉

9月

3	水	筋力フォローアップ②　イキイキ教室⑪ 新入会員説明会
4	木	保険取扱疾患講習会
10	水	（レセプト締切）　理事会
17	水	イキイキ教室⑫
20	土	保険予備審査
21	日	保険審査会
24	水	おおつかサロン　前期支部長会
25	木	症例検討会
28	日	都委託研修会（中期）

（9/21 大田支部「区民公開講座」9/28 町田支部「市民健康講座」
9月 三多摩北支部「市民公開講座」）

10月

1	水	イキイキ教室①　新入会員説明会
2	木	保険取扱疾患講習会
8	水	(レセプト締切)　筋力アップ教室①
12	日	〔N全国大会〕
13	月	（体育の日） 〔学術・保険・広報・組織・共済・青年部長会議〕
15	水	筋力アップ教室②　イキイキ教室②
18	土	保険予備審査
19	日	保険審査会
22	水	筋力アップ教室③
23	木	症例検討会
26	日	在宅鍼灸推進の会③

（10/13 足立支部「スポーツカーニバル」10/19 新宿支部「ふれあいフェスタ」10/19 練馬支部「練馬まつり」
10/19・20 江東支部「区民まつり」10/22 新宿支部研修会　10/25 豊島支部研修会）

11月

5	水	筋力アップ教室④　イキイキ教室③ 新入会員説明会
6	木	(レセプト締切)　保険取扱疾患講習会
9	日	〔N理事会〕
12	水	筋力アップ教室⑤　理事会
15	土	保険予備審査
16	日	保険審査会 鍼灸スポーツフォーラム（長野）
19	水	筋力アップ教室⑥　イキイキ教室④
23	日	（勤労感謝の日）共催学術講習会
27	木	症例検討会
30	日	〔N師会長会議〕

（11/2・3 渋谷支部「渋谷フェスティバル」11/8 三多摩東支部「市民まつり」11/16 北支部「健康フェスティバル」
11月 三多摩西支部「羽村市民まつり・瑞穂町産業祭」）

支部活動の掲載について－－「支部活動の日時」本部が把握している範囲で掲載しています。早めのご連絡をお願いいたします。
事業日程表への掲載は、事務局までご連絡ください。（開始時間についてはご確認ください。）

新入会員のご紹介・会員登録変更事項

会員事業部（平成26年７月１日現在）

【新卒会員の紹介】

氏　名	住　　所	電話番号	ランク	所　属
島口　利夫	新宿区西早稲田3-23-8-206	090-1807-3652	―	会員事業部
小林　淳子	中野区若宮3-21-15 パークサイドB棟201	080-6669-3074	―	会員事業部

島口　利夫

小林　淳子

【住所その他の変更】

氏　名	変　更　内　容	電話番号	支　部
大岩　邦茂	（施術所、支部、ランク） 世田谷区玉川2-15-10　エレガンス玉川102 「おおいわ鍼灸院」 Ｂ会員→Ａ会員	03-6805-6591	渋谷→世田谷
横山　季史	（ランク） Ｂ会員 → Ａ会員	03-6676-8642	目黒
小出　英二	（ランク） Ａ会員 → 特別Ａ会員	―	北
名越　礼子	（ランク） Ａ会員 → 特別Ａ会員	―	三多摩北
有馬　太郎	（住所） 小田原市中町2-16-31-205	0465-22-4080	品川
三須　友子	（ランク） Ａ会員 → 特別Ａ会員	―	港

【学生会員の紹介】

氏　名	学　校　名	所　属
田中　まき	東京医療専門学校教員養成科１年	会員事業部

理事会 議事録

◎日時：平成26年7月9日（水）
　　19：10～20：55
◎場所：日本鍼灸会館２Ｆ会議室
◎出席者
◇理事・監事　15名
（会　長）髙田常雄
（副会長）伊集院克、岩元健朗
（理　事）佐藤直史、天野寛敏、一ノ瀬宏、芝田武司、松浦正人、邉田幸藏、樋口陽一、森野一巳、鹿野和彦、藤井伸康
（監　事）仲田欣司、浦山久昌
◇書　記・事務局等　小林潤一郎、塙 敬茂、山中利道

◎議長挨拶　髙田常雄会長
【案　　件】
◎審議案件
１．入退会等審査
＜佐藤直史理事より新卒会員入会申請２名、退会申出者３名、変更届出２名について説明・審議が行われ了承された。なお、新卒会員の条件について専門学校卒業後「教員養成科」に入った場合に期間をどう捉えるかについて議論があり、結論として「新卒会員での入会条件は、鍼灸師養成学校卒業から５年以内する（したがって、教員養成科は新卒要件に含まない）」ということが再確認された。＞

２．公益法人定期報告について

◇岩元健朗副会長：すでに行政庁に提出した書類については事務局からメールでお知らせしたところであるが、ここでコピー印刷したものを供覧するので確認をしていただきたい。＜了承＞

３．関東ブロック会議東京大会について

＜岩元副会長及び伊集院克副会長より進行表にもとづき概要説明し、了承された。なお、各理事の担当業務の割り振りと支部長（支部長代理）にもできるだけ参加を呼び掛けることが決まった。＞
◇芝田理事：東京都福祉保健局などに声をかけてご挨拶をお願いしたらどうか。
◇髙田議長：声をかけてみる。

４．「会員向けアンケート」の実施について

＜天野理事よりアンケート調査の実施の提案があったが、下記のような意見があったため、引き続き検討することになった。＞
・会員の治療系統や得意分野の把握であれば名前の記入が必要。したがって、氏名の記入・無記入の別々のアンケートを行うことを要検すべき。
・日鍼会でもやったが、会員動向アンケートは定期的に行うことが必要で、その場合ＦＡＸによる返信方法ではなく、より確実に返信をもらえる手法をとるべき。
・保険治療に関する項目内容は保健福祉事業部で内容を詰めていただき、広報部に知らせていただきたい。
・東鍼会への要望は記入形式で率直な意見を問う内容を追加する。
◇天野寛敏理事：東鍼会ホームページに会員専用ページを設けてほしいと思っているので、そのためにもこのアンケート内容を練り直し再度提案することにする。

５．「新入会員・新卒会員の集い」について

＜佐藤理事より提案があり、８月31日（日）に会館２階で行うことを決定。＞

６．予備審査会の扱いに関する提案について

＜小林健保委員長より提案があり、保険予備審査会の開催については保健福祉事業部の判断でその都度開催することで了承＞

７．東鍼会事業スケジュール（後期）について

＜岩元副会長より説明があり、以下の点が追加された。＞
・東京マラソンの事前研修は２月12日。
・都民公開講座は現在一橋大学兼松講堂の使用許可を申請中。開催は３月１日または８日を予定。
＜なお、藤井伸康理事より新宿ハーフマラソンの研修については講師料の問題もあるので新宿支部が行いたいという意向があるとの話があったが、今年度は実施及び予算が確定しているので無理との結論となった。＞

８．会長・副会長の地区訪問の件について

＜佐藤理事よりブロックがなくなったので、意見交換のため各地区を廻ることについて提案があり、日程は正副会長と佐藤理事で詰めて進めることで了承された。＞

９．東京医療専門学校からの依頼について

＜岩元副会長より東京医療専門学校教員養成科から日鍼会・東鍼会についての説明依頼があったため説明に出向きたい旨提案があり、了承された。日程は８月21日（木）。＞

10.「第５回臨床鍼灸スポーツフォーラムin長野大会」について

＜髙田議長より11月に長野で臨床鍼灸スポーツフォーラムが開かれるので、高田会長、岩元副会長、藤井理事の３人が参加する予定との説明があり、了承された。＞

11．会費規定の整備について

＜樋口理事より賛助会員のうちの学生会員と新卒会員はそれぞれの細則で会費が規定されているが、それ以外のＣ会員や特別Ｂ会費会員などはないので明記する必要があるとの指摘があった。結論として賛助会員の会費について新たに規程を設けることで決定。＞

◎報告事項
１．県師会会長交代
２．セイリン役員就任
３．保険審査報告（５・６月審査分）
４．各部報告

以上

平成27年1月号「一鍼たすけ」記事・写真掲載のご協力お願い

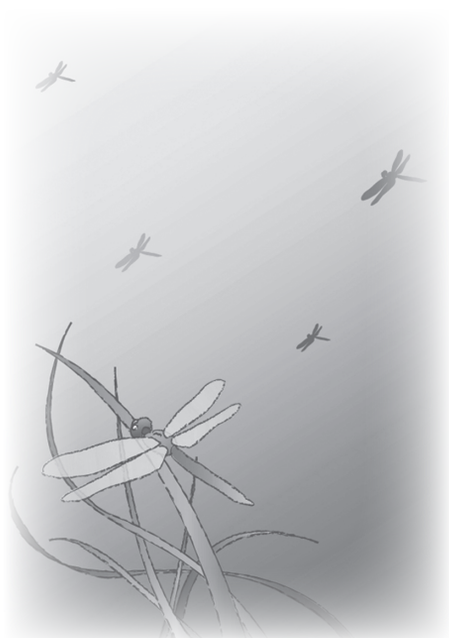
平成27年1月に発刊する「一鍼たすけ」は今年度当初よりアナウンスしておりますように“鍼灸の普及・啓発活動特集”といたします。東京都では30支部のうち半数以上で活発に「市民・区民まつり　健康フェスティバル」などに参加しています。

支部長先生をはじめ役員の先生方からの記事・写真掲載のご協力をお願いいたします。

必要項目
①実施した年月日
②場所
③イベント名称
④来場者数
⑤参加者数（外部鍼灸師含む）
⑥通算実施回数
⑦感想など

送付アドレス　m-amano@agate.plala.or.jp

広報担当理事　天野　寛敏あて



介護予防委員会

7月2日　豊島区介護予防教室
筋力アップ教室　生き生き教室に参加して

豊島区の日本鍼灸会館で定期的に行われている、介護予防運動教室に見学参加させて頂いて来ました。

午前中は豊島区からの委託事業としての筋力アップ教室で10名ほどの参加者の方々でした。まず思ったのが、参加者各個人のファイルと体調管理データを管理しているのだという事です。
来られたら名札をお渡ししてお名前を呼べる事もスタッフとして有難かったです。バインダーやレジメをお渡しして、今日やった事をファイリングしてお渡しする事も簡単そうでなかなかできない気配りだな、と思いました。３か月間12回の講習を脱落してしまわないように配慮されている感じが伝わります。
体操中も参加者がどんな人なのか分かる質問で笑いが起きていて楽しげです。

午後は自費での生き生き体操教室でした。参加者の方に「どうしてこの教室を知ったのですか？」と尋ねたら「最初は筋力アップ教室に参加したのよ。その後もまた受けたいと思ったから、こちらに応募したの」と教えて頂きました。
午前中の筋力アップ教室のきめ細かい配慮と運動の効果なのだと感心しました。どうやって30名もの参加者を集められるのかと思っていたので納得しました。
スタッフさんの中に女性がいる事はとても雰囲気が明るくなり、事務的な事も丁寧になっていく事が分かりました。

今回見学参加させて頂き、一番凄いなと思った事は運動教室を行う事を「当たり前」のように行っているスタッフの先生方の姿勢です。この「当たり前」の感覚が長年の実績と自信を感じさせてくれました。自身の地元でも、こういった教室を企画運営してみたく思います。その為のモデルとして、とても参考になりました。本当にありがとうございました。

静岡県鍼灸師会　靱矢　哲生

筋力アップ教室を見学してきて

先日、自治会主催のお茶会で、少々時間をいただいて簡単な筋力アップ指導する機会がありました。やってみてわかったのが、人に教えることのむずかしさです。そこで、豊島区でやっている教室をぜひ、見に行きたいと思いました。

教室に入ると10名ほどの参加者が、指導員の話を聞いていました。今話題になっている話から、本題の筋肉の話、転倒予防の話になると、一層真剣に聞き入っている様子が印象的でした。質問はなかったものの、うなずく光景が何度か見受けられます。まだまだ、お互いこころを開いていないのか口数も少なく、皆さんまじめです。もしかして都会の特徴なのでしょうか？

指導員の話し方は、ゆっくりで落ち着いたやさしい話し方で、また高齢者にもしっかりと聞き取れるテンポで、とても勉強になりました。内容は、身近な話や、今話題になっていることなど…　運動前に話す内容も、吟味して参加者が和めるよう工夫することが必要なのかなと感じました。

筋力アップの運動になると、なおいっそう真剣で、筋肉の説明から、その筋肉が衰えるとどうなるのか、日常生活のなかで不都合がこんなところで起きると説明し人体模型やパネルをつかって、高齢者にも分かりやすく説明していたのが印象的でした。
運動の説明は毎回同じことをいっているのよと言われ少しほっとしましたが、人に伝えること運動の指導、自分でやるとなるととても不安を覚えます。
指導されてる方々に聞くと、車の中で１人で何度も練習されたとか、また友人を相手にして練習し感想を聞いてみたとか。まだまだ、不安いっぱいですが努力あるのみ！

急速に進む我が国の高齢化に対して、健康寿命を延ばし、生き生きとした生活ができるよう支援するのが私たち指導員に果たせられた重要な役目だと思って、これからもこの活動を世に普及し、続けていきたいと思っています。

神奈川県鍼灸師会　佐竹　泰子

支部だより

目黒支部（目黒区鍼灸師会）

不妊治療の現状と展望

平成26年６月22日（日）９：30～12：00
都立大学駅徒歩８分にある八雲住区センター

講師は大田支部の河村卓躬先生にお願いしました。

今回は既に不妊治療を行っている臨床家向け講習会ということで、参加者45名中、鍼灸師43名（東鍼会会員17名）、学生２名（１名学生会員、１名看護師）でした。

前半1時間は講義で、たくみ堂での現状や治療について詳しくご講演いただきました。

10年前には多かった自然妊娠希望者が現在は減ったこと。来院する患者さんの多くは35～38歳で結婚して数年経ち妊娠できず、自己流で試し、近所のクリニックで受診しタイミング法や人工受精を試み結果が出ず、専門クリニックで体外受精を数回行い妊娠に至らず、やっとそこで体質改善のために鍼灸に目が向き、高度生殖医療と並行しながら鍼灸を受けるそうです。妊娠染色体異常による流産を減らすことが現代の課題だそうです。

ポイントとしては望診、切診、脈診、舌診、とくに腹診は治療目標である、弾力性がありエネルギーに満ち溢れる力強いお腹作りが母体作りでもあるのでよく見るそうです。

実技の印象は終了後のアンケートから抜粋させていただきます。

「先生の長年の臨床経験からの深い内容でした。患者さんと向き合う姿はとても素晴らしく思いました。今の風潮に、鍼灸もビジネスと捉えることが患者さんのためになるのか警鐘になり、考えされられた本質本当の鍼灸を求めることへの道筋になる講義でした」「不妊治療の現状を詳しく知ることが出来、理解が深まりました。実技においては、帯脈治療が興味深く、臨床への応用に取り入れさせていただきたいと思いました。」

「男性不妊の重要性がよく伝わりました。河村先生の熱意と今までの実績、お人柄によく現れておりとっても感動しました。」「不妊に悩む方の実情がお聞きできて参考になりました。臨床経験が浅いので予備知識としても役に立ちました。鍼灸が不妊に役立つことがもっと広まればと思いました」

「不妊治療から流産率現象の話まで、一歩踏み込んだ内容で大変為になりました。帯脈治療というなかなか見れない技術も見させていただき参考になりました。開業してしまうとほかの先生の技術を見る機会がないのでありがたいです。」「実践的な実技が大変勉強になりました。治療前⇒後　緩んでいるのが見ているだけでも変化があることがわかりました。」

「先生の誠実なお人柄の伝わるとてもよい講演会でした。今後の治療に役立てていける内容で、参加してよかったです。」「以前より河村先生の研修会に参加したいと思っていました。今回このような機会を得、とても感謝しております。不妊に関する研修会はほとんどありませんので、ぜひ今後も開催していただけるとありがたいと思います。本日はありがとうございました。」

目黒区鍼灸師会では平成27年２月１日（日）９：30～12：00　不妊治療をテーマに金子朝彦先生の研修会を企画中です。
次回もどうぞご参加ください。

目黒副支部長　林　真紀子

品川支部

第９回　鍼灸臨床実践講座

平成26年７月６日（日）品川区立中小企業センター小講習室にて、品川支部の恒例事業で、鍼灸師の技術向上の為の実践企画として、「鍼灸臨床実践講座」を開催しました。

この事業は今年で第９回を数える当支部の重要な事業と成っています。今年は、鍼灸業界でも名人の呼び声高く、当支部では、監査役までやっていただいている、艸寿堂院長の高橋永寿先生にお願いして「産科領域の鍼灸」と題して、不妊症･つわり･逆子･妊娠中の不定愁訴の問題を講演して頂きました。

なんと言っても講習会資料として37ページにも及ぶ一冊の本と言っても過言ではない
資料です。

第１章　月経・妊娠とホルモン
第２章　不妊症
第３章　つわり
第４章　逆子に分けて　約１時間に渡って、講習を行い、現代医学の理論に先生の長年の研究による古典・経絡治療を重要視してさらに先生の研究の集大成でもある、経絡理論の治療法を交えて非常に中身の濃く、また、貴重な内容でした。長い臨床経験を持つ先生方からも改めて感嘆の声が、上がった程でした。

約10分の休憩後に、今度は実技の講習に移った。参加者をモデルにして生理痛の治療や、つわりの治療、そしてメインとも言える逆子の戻し方。

実はこの技術、先生は「本当はあまり見せたくは無い」と言う事でした。何故かと言うと、良く熟知もせずに行うと、危険が伴う事もあるので良く覚えておく様にとの注意を受けた。

確かに来院したその日に、逆子を返してしまう超絶テクニック。一長一短では出来るものではないが、中々経験出来ないのも確か。習得には時間が掛るのでは？

（講演内容など詳しく知りたい方は、細木信孝までご一報下さい。品川支部では、この貴重な研修内容を、東京都鍼灸師会会員に貸し出す用意が有ります。）

２時から始めて予定時間は４時30分だったが、今回は、質疑応答をしっかり聞く為、そのまま懇親会へもつれ込みました。色々な質問に一つ一つ丁寧に答えていたため、時間はいくらあっても足りない状態だった。

普通、講演会はどうしても一方通行の事が多いが、品川支部では色々質問の中にこそ、鍼灸師の今の現状が見えてくると思い、質疑応答を重要視した講習会の開催を目指しています。そして、講習会全てが終了したのは７時を回っていました。長いけど、とっても役に立つ講習会であった事を願っています。

本年度から、品川支部では子育て支援の為の鍼灸を目指して、研修をして行く事を決定しています。その第1段が、今回の「産科領域の鍼灸治療」。第２段に「小児鍼の研修会(仮称)」第３段「お母さんに教える小児鍼(仮称)」と題して、鍼灸師向けの講習会を開催して、広く鍼灸師に、小児鍼のやり方や指導法。子供の健康法、親子で行う健康術・等を習得して、来る27年度には、品川支部の得意の第13回「鍼とお灸の集い」で、区民の親子に対して積極的に、小児鍼の有効性とスキンシップの大切さ、親の健康が何より大切として、患者獲得の為の口コミを広める活動を、展開して行こうと思っています。

東京都鍼灸師会の会員先生の中に、小児鍼の得意な先生や、上手い先生を知っていましたら、是非技術を習得する為、講習会を開催したいと思いますので、心当たりの先生は、是非ご一報をお願い致します。

これからは少子高齢化です。これからの鍼灸業界は子育て支援対策事業と、スポーツ界の貴重な裏方として、発展して行かせては?と考えています。高齢化だから、高齢者では、やはり鍼灸は年寄り臭いものと成ってしまいます。子供と、働き盛りに中心を持って行ったら、健康ケアの一番手の治療法として活躍出来ると信じています。

品川支部長　細木　信孝

江戸川支部

第３回被災時鍼灸研修会

平成26年７月６日（日）タワーホール船堀にて「第３回被災時鍼灸研修会」を開催しました。

最初の演題は災害鍼灸プロジェクト会長：三輪正敬先生から「鍼灸マッサージ師の行政と連携した災害支援活動」としてボランティア意識の大切さ、被災地の情報収集、状況判断、そしてどのように活動に広げていったかなどをお話して頂きました。

次に中川に健康な道をつくる会：関口昌宏会長からは「東京東部の地盤と自然災害」として水害の危険な地域、地盤の弱い場所、液状化現象が発生するしくみを機具を使って実際に説明して頂きました。

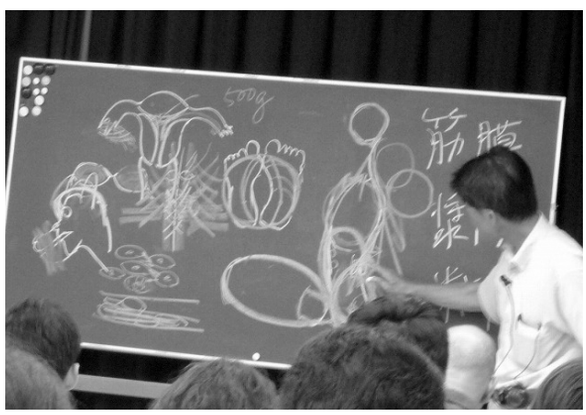
いつ起こってもおかしくない災害時に鍼灸師がボランティア意識を持って何が出来るのか、参加者の熱心な質問も多くあり大変有意義な研修会でした。
参加者のみなさま大変お疲れさまでした。

江戸川支部　西沢　淑公

新宿支部

学術研修会「もう一度解剖学⑪」

新宿支部の今年度公開講座の河野俊彦先生の「もう一度解剖学」の第11回目を７月21日（月）（祝）午後２時より大塚日本鍼灸会館にて開催いたしました。前回の新入生歓迎講演（4/29）も大好評でした。



今年の年間テーマは「膜器官」今回の夏解、10月秋解座学、11月千葉大医学部解剖実習見学とシリーズ化して行います。

また応募方法をホームページよりメールにて完全予約制に移行し、定員次第でメ切らせていただきました。当日の受付の混乱もなくスムーズな入場となりました。皆様ご協力ありがとうございました。なお。次回、秋解座学は10月22日午後７時より＠大塚会館、膜器官後篇です。出席者63名（学生16、非会員29、会員13、学生会員５）

新宿支部長　井坂　卓司

2014年世界車椅子バスケット大会「仁川」を観戦して

本年７月３日より14日まで行われた世界車椅子バスケット大会（男子）のお手伝いをしに韓国の仁川まで行ってきました。
大会自体は14日まで行われましたが、私たちはあまり治療院を空けるわけにもいかず、予選大会までということでお邪魔を致しました。

障害者スポーツのお手伝いをさせて頂いて感じることですが、世間が持つ関心度の低さはどこに行っても同じなのかなというのが最初の実感です。たまたま、サッカーのワールドカップが開かれていた時期と重なっていましたので、特にそう感じたのかも知れません。

選手の皆さんは、初日と２日目の公式練習の日を除くと、毎日、試合と練習。帰ってきて宿舎でミーティングと入道僧のような毎日を送られていました。改めて代表選手の大変さを感じました。今回は特に選手をサポートされている選手団の皆さんを対象にコンディショニングをさせて頂きました。今後の我々の可能性を模索した貴重な経験でした。

新宿副支部長　申　英秀

アナウンス

新宿支部：これからの活動

①９月23日（火・祝）午後２時より
　公益活動おいての安全な施術の基本
　「毫鍼刺鍼の基本」など詳細未定
　@大塚日本鍼灸会館２F講堂
②10月19日（日）新宿区民祭り「ふれあいフェスタ2014」普及活動
　@都立戸山公園（高田馬場）
　受付詳細はHPにて
③10月22日（水）午後7時より
　「もう一度解剖学⑫」秋解座学：「膜器官其の２」
　講師：河野俊彦先生
　受付詳細はHPにて
④11月28日午後２時～新宿区鍼灸師会
　「千葉大医学部解剖実習見学」第６回目
　テーマ「膜器官」指導教員：河野俊彦先生
　受付詳細はHPにて
⑤マラソン関連研修会　第１回目
　12月下旬もしくは１月上旬
　受付詳細はHPにて
⑥第14回新宿シティーハーフマラソン
　平成27年１月25日（日）
　国立競技場取り壊しのためメイン会場未定
　受付詳細はHPにて

■受付・お問合せ（メール）
　hari-info@shinjuku-hari.com
■新宿区鍼灸師会HP
　http://shinjuku-hari.com/

新宿支部長　井坂　卓司

公益社団法人　日本鍼灸師会
「関東ブロック大会」報告

平成26年８月３日（日）
大塚「ホテルベルクラッシック東京」８Ｆ

大会テーマ「在宅医療と鍼灸」

開会式
①主催者挨拶：仲野弥和　日鍼会会長
②来賓挨拶　：東京都福祉保健局
　　枦山日出男 高齢社会対策部長
③関ブロ会長挨拶：池田教克 群馬県師会長
④担当県師会長挨拶：髙田常雄 会長
⑤日本鍼灸師会 会務報告および質疑応答

持ち回りのため、今回は公益社団法人東京都鍼灸師会が担当し、正副会長をはじめ理事が大会と懇親会の進行役を担った。

公開講座①　平原佐斗司 先生（医師）

日本在宅医学会副会長
東京都北区：梶原診療所所長（在宅サポートセンター）

①日本における在宅医療の移り変わり
②今後における在宅医療の必要性
③病院・在宅での看取り----「死因別疾患の違い」
④医学・高齢者医療と鍼灸　についてご講演された

（平成28年７月　開催「日本在宅医学会東京大会」大会長を務める）

講演スライドの中で
１．診療ガイドラインと鍼灸
２．世界が認めている鍼灸を、
　　日本の伝統医療として位置付ける
３．高齢者医療と鍼灸

興味深い内容であった。

公開講座②　髙田常雄 先生

「在宅医療（地域医療）へ参加すべきだ！」
　　－鍼灸師として何ができるか－
について講演された。
①超高齢社会では鍼灸師として大切な役割が求められていること
②鍼灸師が今後関わる老年症候群について
③都道府県・市区町村・地域ケア会議などに鍼灸師が積極的に参加することで、医療・介護・福祉の関係機関との接点が生まれる。今後もケアマネジャーが大きなキーパーソンになる。これらの方々との連携がしっかり出来ると、鍼灸院の経営安定にもつながると、力説された。

これから先の将来を鑑みて「次世代を担う鍼灸師」への「一つの有力なバトンタッチ」であると感じた。日本だけではなく世界が抱える高齢化問題に対しても、日本の鍼灸師が少しでも応えて行かなければならないし、日本の中央行政も鍼灸に期待を寄せていることを知った。

懇親会

各県師会長の挨拶にはじまり
乾　杯：相馬悦孝 名誉会長
中締め：武田信正 相談役
和やかな懇親会であった。

神奈川県師会（19名）　千葉県師会（６名）
茨城県師会（８名）　栃木県師会（５名）
群馬県師会（９名）　埼玉県師会（12名）
東京都師会（40名）　日鍼会会長（１名）

大会参加者数　----　総勢100名

{広報}

厚　生　部

7月9日　理事会報告にて

お悔やみ

北 支 部　髙田　常雄 氏 5月21日 母堂死去 97歳
足立支部　尾澤　正義 氏 5月24日 本人死去 85歳
港 支 部　矢野　三郎 氏 5月27日 母堂死去 79歳
江東支部　田中　毅雄 氏 6月23日 母堂死去 89歳

【退会者のお知らせ】

足　立　　尾澤　正義　（HA会員）
板　橋　　牧野　良幸　（A会員）
豊　島　　三好千賀子　（A会員）

理事会通信

平成26年8月31日（日）日本鍼灸会館２Ｆにて「新入会員交流会」を開催しました。
詳細は11月号に掲載します

会　長　日　誌

6月1日　N「スキルアップ研修in宮城」
（松浦理事同行）
4日　N日鍼会業務執行委員会
8日　N理事会・代議員総会
9日　N日本鍼灸連盟
20日　2014年
第２回在宅医療を推進するための会
21・22日　N東北ブロック会議
25日　厚生労働省老健局老人保健課
29日　第29回介護予防運動指導員
養成講座in静岡

7月3日　東洋鍼灸専門学校にて
鍼灸業界の説明
9日　東鍼会理事会
13日　第29回介護予防運動指導員
養成講座in静岡（松浦理事同行）
14日　N政治連盟委員会
16日　東京都福祉保健局
高齢社会対策部、神林都議訪問
厚生労働省老健局老人保健課
訪問の打合せ
17日　東洋鍼灸専門学校にて
老年症候群に対応可能な鍼灸治療
および実技
21日　第30回介護予防運動指導員
養成講座in大阪（松浦理事同行）
27日　第29回介護予防運動指導員
養成講座in静岡（松浦理事同行）
28日　厚生労働省老健局老人保健課
定期協議

（公社）東京都鍼灸師会協力会員

株式会社　カナケン 〒225-0002 横浜市青葉区美しが丘2－17－39 TEL：045－901－5471 URL：http://www.e-kenkou.jp E-mail：info@kanaken.co.jp	株式会社　明　健　社 〒181-0013 三鷹市下連雀7－6－36 TEL：0422－71－8801 URL：http://www.meikensha.com E-mail：1@meikensha.com
(有)前田豊吉商店 〒167-0052 杉並区南荻窪1－22－15 TEL：03－3332－7634 URL：http://www.needlemaeda.com E-mail：harimaeda@pop01.odn.ne.jp	セイリン株式会社 東京営業所 〒103-0027 中央区日本橋3-7-10 タンペイ日本橋ビル3F TEL：03－3276－9390 URL：http://www.seirin.tv
協力会員募集中	

発行者　公益社団法人　東京都鍼灸師会　会長　髙田常雄

〒170-0005　東京都豊島区南大塚3-44-14　日本鍼灸会館内

電　話　03－3985－7501　FAX　03－3985－7526

メールアドレス　info@harikyu-tokyo.or.jp

《広報委員》天野 寛敏・増田 眞彦・原 珠枝・塙 敬茂《学術監修》浦山 久昌

次号は11月号　9月末日原稿締め切り　11月10日発刊予定